

ナンバリング		授業科目名(科目の英文名)					区分・【新主題】/(分野)		授業形式					
E1140010		重複障害教育総論 (Special Seminar in Education for Children with Multiple Disabilities)							対面					
必修選択	単位	対象年次	学部	学期	曜・限	主に使用する言語	その他に使用する言語	担当形態						
必修	2	3	教育学部	前期	月5									
担当教員	氏名 五位塚和也 E-mail k-goitsuka@oita-u.ac.jp 内線 6149													
授業の概要	まず重複障害、重度・重複障害、重症心身障害という概念について整理する。次に重い障害のある児童・生徒のための医療的ケアについて概説する。そして重複障害のある児童・生徒のための教育課程の編成の基本と指導計画作成のための考え方や手順について解説する。とりわけ自立活動についての理解を深める。													
具体的な到達目標							DP等の対応(別表参照)	1	2	3	4	5	6	7
目標1	重複障害児の実態把握から指導の展開までの全体像について述べるができる。							○		○				
目標2	重複障害児の指導上の留意点について説明することができる。							○		○	○			
目標3														
目標4														
目標5														
目標6														
目標7														
目標8														
目標9														
目標10														
各DPへの関連度(計10)								6		3	1			
授業の内容														
1 教育における重複障害及び重度・重複障害の定義と概念														
2 医学・福祉における重症心身障害の定義と概念														
3 重度・重複障害児に対する配慮や工夫														
4 重い障害のある児童・生徒の呼吸障害の理解														
5 重い障害のある児童・生徒の呼吸障害への対応														
6 医療的ケアとは														
7 医療的ケアの教育上の意義														
8 重い障害のある児童・生徒のための環境の構造化														
9 重い障害のある児童・生徒のための環境の構造化の実践														
10 教育課程の編成：重複障害者等に関する教育課程の取扱い														
11 特別支援学校学習指導要領における自立活動の解説														
12 自立活動を主とした指導														
13 実態把握と効果的な指導の展開														
14 重い障害のある児童・生徒の問題行動の理解と対応														
15 重複障害児と訪問教育														
ラ ッ ク ニ ー グ ル ー プ	A:知識の定着・確認		○	授業内でペア/グループによる意見交換の機会を設ける。				工 そ 夫 の 他 の	受講者の学習保障のために、Moodle上に毎回授業動画および授業の配付資料を公開する。 授業における双方向性の向上のために、Moodle上に毎回の授業でコメントシートを設定し、受講生が記入したらその都度フィードバックを行う。					
	B:意見の表現・交換		○	授業内でペア/グループによるワークを通して体験的学習の機会を設ける。										
	C:応用志向		○	る。										
	D:知識の活用・創造			架空の事例をもとに、グループで事例検討を行う機会を設ける。 テーマ別にグループで調べ学習を行い、発表する機会を設ける。										
授業時間外 学修の内容 と想定時間	準備学修		Moodleに各回の事前学習の課題を提示しているため、各自で内容を確認し、学習課題に取り組んでおくこと(1.5h×15回=22.5h)。											
	事後学修		学習した内容を振り返るとともに、授業で扱った内容や関連する課題について論文、書籍、インターネット等を用いて調べ、ノートに記述すること(1.5h×15回=22.5h)。											
	想定時間合計		45											
教科書		教科書を指定しない。適宜、資料を配布する。												
参考書		「特別支援学校幼稚部教育要領 小学部・中学部学習指導要領 平成29年4月公示」 「特別支援学校教育要領・学習指導要領解説 総則編・各教科等編・自立活動編(幼稚部・小学部・中学部) 平成30年3月公示」 「特別支援学校高等部学習指導要領 平成31年2月公示」												

成績評価の方法及び評価割合	評価方法		割合	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10
	期末試験		80%	○	○								
	平常点（受講態度・授業への取り組み方等）		20%	○	○								
注意事項	配付したプリントはファイルにまとめ、授業の時に毎回持参すること。教員としての資質を身につける授業であるから、遅刻、無断欠席、私語、居眠り、携帯やスマホの使用、授業と関係ない書籍を読んだり作業をすること等がないこと（平常点で考慮）。												
備考	なし。												
リンク													
	URL												
担当教員の 実務経験の有無	○												
教員の 実務経験	臨床心理士・公認心理師												
実務経験を いかした教育内容	心理職として特別支援学校の児童生徒および保護者への支援に関する実務経験を活かし、重複障害のある児童生徒への発達的なアセスメントや自立活動の指導についで、具体的な状況を想定した演習を取り入れて授業を進行する。												